

【学校だより】

かがやくこころ2



令和3年 9月 1日(水) 第10号

2学期がスタートしました！



8月30日(月)、朝登校してくる子どもたちの元気なあいさつで2学期がスタートしました。県内でも相変わらず新型コロナウイルスの感染がとまらず、今学期の学校生活も多くのがまんや

変更が余儀なくされそうです。始業式はリモートで！体育館に全校児童が集まることはせず、各教室で校長、生徒指導、給食指導についての話を聞きました。

私は今学期も「楽しい学校」を目指してほしいことを話しました。楽しい学校になるには「分かること」「認める(認められる)こと」「つながること」が大切であること、そして仲間を思う例として東京オリンピックのスケートボードで転倒した岡本選手を他国の選手たちが担いで励ましているシーンを取り上げました。

各教室では夏休み中の宿題が所狭しとならべられていたり、休み中の思い出をみんなの前で発表したり、川柳にしたりして振り返っている学級もありました。

コロナ禍ではありますが、限られた環境下で子どもたちに少しでも「楽しく感じられる学校」を目指していきたいと思います。



8月29日(日)PTA 奉仕作業を実施しました。毎回大勢の保護者の方に参加していただいていたのですが、昨今の事情を鑑み、PTA3役と環境安全委員さんと教職員だけという限られた人数で実施いたしました。

作業も校舎内掃除や外の草刈り、側溝掃除等に限定して密に気を付けながら行いました。委員の皆様方暑い中半日ご奉仕いただき、本当にありがとうございました。

コロナ禍における9月の行事について

新学期が始まりましたが、学校生活の中で大切なことはコロナや熱中症から子どもたちを守る、ということとそれと同時に限られた環境下でも「子どもたちの学びを止めない」ということ

です。そうしたはざま、学校はこれまで教育委員会や他校の状況、PTA3役とも相談をしながら9月に予定していた主な行事を下記のように考えています。

☆運動会

- ・集合隊形は常に両手間隔以上離れる。
- ・応援の練習中は熱中症のリスクもあるため、全員マスクを外すが、声を出しての応援は行わない。5、6年生は指導のため声を出すため、やむを得ずマウスガードを装着するが、在校生には離れて指導する。
応援当日は、全色同一方向に向き声を出すのはマウスガードを着けた一番前のリーダーのみ。それ以外は手拍子や激しくない身体のみ動きとする。
- ・テントでは基本マスク着用
- ・テント内では声を出しての応援はしない。
- ・競技の前の点呼時返事せず手を挙げて一礼。スタート前の「おねがいしまーす」は言わない。
- ・競技の前後でアルコールによる消毒
- ・保護者の参観は1名に限定、来賓は招待しない。
- ・開閉会式で選手が1か所に集まるようなことはしない。
- ・給食後の反省会は各色部屋を分けてマスク着用で行う。
- ・テント内に霧吹きを用意して熱中症予防に使用する。
- ・塩分タブレットを配付する。

とにかく飛沫がとぶ活動を出来るだけ少なくすることと、熱中症への配慮を十分に行って実施したいと考えています。運動会を9月に予定している学校も数校ありますが、今のところいずれも9月中に実施の予定です。今後感染者の発生によっては急遽中止になる場合もございますので、感染予防はふだんから十分にご留意いただきたいと思います。

☆鯖街道(6年)

6年生は当初5月に実施予定でしたが、他県が緊急事態宣言下であったため、9月に延期の予定をしていました。しかしながら現在福井を取り巻く周囲の県は殆ど「緊急事態宣言下」にあります。また9月12日までの緊急事態宣言の再延長もあるとも言われています。そこで以下の点から考えました。

- ・県独自の緊急事態宣言下であること…県は9月12日までの緊急事態宣言を出して他県との往来を出来るだけ行わないように勧めています。また一向に感染者が減る傾向がありません。たとえ9月12日から特別警報に下がったとしても、他県との往来はこれまでも控えてきました。
- ・鯖街道の再延期は？…鯖街道を9月以降に再延期した場合も事態はあまり変わらないと考えています。例えば周囲の県が緊急事態宣言からワンランク下がったとしても、他県との往来は控えなくてははいけません。また10月より遅くなると蜂や熊の危険、それに気候的に厳しくなります。

以上のことから考えると、苦渋の決断ではありますが例年のような「県をまたいだ鯖街道踏破体験」の実現は厳しいと考えています。国や県レベルで考えて準備してきたオリンピックやインターハイもありましたが、やはり昨今の事情を総合的に考え、子どもたちの命を最優先に考えることにいたしました。保護者の皆様方にはいろいろなご意見がおありかと思いますが、ご理解いただけると幸いです。

なお6年生には今後代替え案を考えてもらう予定でいます。鯖街道踏破は出来なくても、県内で出来る体づくりや思い出作りに考えをシフトしてもらえればと思っています。